



(1) 2014.4 滋賀県看護協会会員数 (平成26年3月24日現在) 保健師/269人 助産師/211人 看護師/6,079人 准看護師/222人 合計 6,781人

一番星見つけた!

NPOみなくち
3つの訪問看護ステーション



NPOみなくち訪問
看護ステーション、
信楽サテライトスタッフ



NPOみなくち鹿深訪問
看護ステーションスタッフ



NPOみなくち訪問看護ステーションは平成19年6月開設しました。滋賀県の南甲賀市に位置しています。甲賀市は滋賀県の県土12%を占める広いエリアです。この広い地域の訪問効率を改善し、訪問看護の質・量の充実をめざして平成21年6月に信楽サテライト、同24年には土山町に鹿深訪問看護ステーションを開設しました。

現在は訪問看護師19名、理学療法士3名、作業療法士1名が連携を図りながら訪問にあたっています。

平成25年4月に滋賀県看護協会より委託を受け、基幹型訪問看護ステーション設置モデル事業に取り組んでいました。「24時間、夜間早朝を含めた巡回型訪問看護」の実施にむけた事業が終了し、今後の高齢社会を支える地域包括ケアにおける訪問看護の課題が明らかになりました。もう一つの「新卒者訪問看護師育成教育プログラム」事業は現在進行中ですが、訪問看護師不足や訪問看護の活性化へつながるよう、進めていきたいと思ひます。

もくじ

地区支部だより第1地区支部・第6地区支部.....	6
一番星見つけた!	1
看護協会長日誌「SHIGA! はたさば通信」.....	7
WLB(フォローアップワークショップ)	2・3
医療安全通信	8
研修報告「保健師職能集会」「お薬知っとく情報」.....	4
ナースセンターからのお知らせ・滋賀県看護学会演題募集	9
研修報告「ためると毒」「知って得するコミュニケーションスキル」.....	5
事務局だより・会員の声・編集後記.....	10

平成25年度看護職のワークライフバランス フォローアップワークショップを開催しました

■平成26年1月21日

参加者[参加施設から31名・一般参加21名]

友仁山崎病院 (参加1年目)

アクションプラン①

WLB推進体制の整備と院内周知

アクションプラン②

ビジョンを達成するにあたり、インデックス調査で特に問題と思われたものの追跡調査の実施

アクションプラン③

就業規則の周知・人事考課の評価に向けたラダーの見直し

アクションプラン④

人事考課の評価への反映

【1年間の取り組み】

- 追跡調査の結果から、取り組まなくてはならない優先順位をつけ、実施に向けて計画を立てる
- 見直したラダーを用いてチェック
- 人事考課項目の見直しと周知、活用
- ステップアップ評価についての現行の見直し



★今後参加される施設へのアドバイス

すでに取り組んでいる事がきっとあるはずですよ。それを職員にアピールするいい機会でもあると思うので参加する価値はあると思います。

ウォーリス記念病院 (参加1年目)

アクションプラン①

職員の職責遂行と権利の適切な行使

アクションプラン②

公休、有給休暇取得について個々の不満を解消する

★取り組みの中で苦勞した事

クロス集計に時間を費やしたが今一つ読み込みが浅かった。

中小規模の病院であり、委員会の立ち上げや開催はスムーズにできたが、具体的取り組みにスピード感がとれない。

【1年間の取り組み】

- WLB推進委員会の定期的な開催
- 実態調査実施、分析、周知
- 1年後のインデックス調査
- 賃金について県内、全国、東近江の調査を行う
- 事務長と交渉の場を定期的に持つ
- 実態調査
- 各病棟単位で、日々の業務体制の現状把握と整備を行う
- 人事制度を活用し専門性の向上を図る
- 評価者向けの研修
- 人事制度についての研修 (全職員)
- 中長期計画を具体的に伝える機会をもつ
- 看護部理念の周知と理解を深める (毎月の話所会にて)

済生会滋賀県病院 (参加2年目)

- アクションプラン①
看護の専門性を高める
- アクションプラン②
労働環境への取り組み
- アクションプラン③
制度充実への取り組み

Q:アクションプランを継続して取り組む中で苦勞した事は何ですか？

A:看護師全員にWLBに対する意識を浸透させていく事



琵琶湖大橋病院 (参加2年目)

- アクションプラン①
WLBに関することの掲示、ロゴマークの使用
- アクションプラン②
メンタルヘルスに関するアンケートの実施
腰痛予防対策の取り組みの継続
- アクションプラン③
記録改善に向けてWLB推進委員と記録委員との連携により、改善行動の明確化を行う
- アクションプラン④
各部署別、職種別に業務改善に向けた計画書の作成
- アクションプラン⑤
キャリアラダー表の改訂

Q:アクションプランを継続して取り組む中で苦勞した事は何ですか？

A:継続するために検討する時間の確保
職員のモチベーションを保つ事

滋賀県小児保健医療センター (参加2年目)

- アクションプラン①
時間外勤務の削減を多職種と共に検討していく
- アクションプラン②
サービス・福利厚生等の制度の周知と、勤務形態の検討・多職種との連携に向けて
- アクションプラン③
小児看護の専門性の向上に向けて



Q:今後参加される施設へのアドバイスはありますか？

A:WLB推進体制について、推進メンバーの中に事務局や他職種を入れて委員会を立ち上げていく方が良い。スタッフへのアピールや共に実践していくという意識付けが大事。
楽しく実践する事で成果が上がる。

参加施設の皆様お疲れさまでした。
苦勞された事やアドバイス有難うございます。
次年度も楽しく実践して行って下さい!!
H26年度参加施設のみなさんもアドバイスを参考にがんばってください。楽しみにしています。

研修報告

保健師職能集会

日時：平成25年12月7日

講師：堀井 とよみ先生

全国の保健師から寄せられた声を取り入れて、10年ぶりに、保健師活動指針の改訂が行われました。そこで、保健師職能集会ではテーマを「保健師活動指針でみんなと語り合いたい!!いつやるのか?今でしょ!」とし、京都光華女子大学健康科学部看護学科教授、堀井とよみ先生を講師に迎え「保健師活動指針を読み解く」についての講話いただきました。

保健師が目指すものは何か、保健師の専門性を改めて考え、各々の地域で何ができるのかについてグループで語りあいました。

グループワークでは、職能の抱えている問題から、今後取り組むべき課題や事業の進捗状況に関する事、人材育成についての情報交換と地域での保健師活動の情報の共有し交流が深められていました。グループからの発表では、保健師活動の醍醐味である地区活動にも積極的に取り組んでいることを知り、心が強く揺さぶられました。また、保健師の熱意と向上心が感じとれ、とても魅力のある職能集会でした。



平成25年度小規模施設等看護職員研修会

『薬剤師に聞きました お薬知っ得情報!』

日時：平成25年12月7日

講師：大石 和美先生

去る12月、県民公開講座として、丸山薬局からプライマリ・ケア認定薬剤師の大石和美さんをお招きし研修会が行われました。医療用と一般用医薬品の違いについて、また高齢者の服薬管理と指導のポイントを通して、活躍されている地域の話をしてくださいました。受講生は看護師をはじめ介護職の方も来られていて、普段疑問に感じていることなど事例を通してアドバイスを受けておられました。研修の時間を越えてたくさんの質問が出ていましたが、ひとつひとつ丁寧に答えてくださり、とても有意義な時間となりました。今まであまり接点がなかった薬剤師を招いた研修会で、連携した支援の大切さを感じた研修でした。



「ためると毒！ストレスをパワーに変えるマネジメント」

日時：平成25年12月2日(月)

講師：瀧川 薫先生

96名23施設からの管理職が参加し、先生より職場におけるストレスを理解する前に、現代社会の問題として老若男女問わず、どの世代の人もストレスにさらされている状況を聞きました。その上で、中間管理職としてストレス源とは何か、ストレス源が身体に及ぼす影響をあらためて知りました。心の病による休職が10年で3倍に増えた昨今、メンタルヘルスは社会においても重要視されていることがわかりました。

管理者としてのストレスとスタッフ個々のストレスを知り、その要因に対するマネジメントを学ぶ中で、先生は「みなさんにとってエネルギーを充電できる場所・人は居ますか?」と問いかけられました。ストレスマネジメントとは、「いかにエネルギーを充電しながら自分の目的のために最大限にエネルギーを使うか」です。良いストレスには勇気づけられ、悪いストレスには自分のエネルギーを考慮した対処行動をとることが大切であると学びました。また、職場の風土は管理者にかかっており、管理者が疲弊してはスタッフのストレスマネジメントはできない、そのためには対処技能のレパートリーを増やすこと、一点集中ではなく心の多様性をもつことがメンタルヘルスには有効であることを学びました。

看護という深い職務を実践する中で、どれだけセルフモニタリング（自分で自分を客観視できる能力）が必要か、そして、思いが職場で語れることも共に支えあい成長することにつながるのではないのでしょうか。

日々の業務に追われ、どれほどストレスを抱えているのか、ストレスさえも感じずに忙しく過ごしている管理者もいるかもしれない状況において、一日をとおして、ストレスをパワーに変える技能について学ぶことができました。管理者としてストレス対処のヒントが得られ、自分の中の大切なものに気づく機会を得ることが出来ました。



「知って得する！コミュニケーションスキル」

日時：平成25年12月7日

講師：天野 可奈子先生

国立がん研究センター東病院でご活躍の臨床心理士 天野可奈子先生を講師にむかえ、社会人として求められるコミュニケーションスキルを理解し、自己のコミュニケーションスタイルを客観的に把握すること、また人間関係に必要なコミュニケーションスキルを看護の現場で活用できることをねらいとした研修会がありました。

コミュニケーションスキルは、患者や職場の人間関係を良好にし、業務を円滑に進めていくために必要不可欠です。そのためには相手の感情を自分自身のものであるかのように感じ取り、相手の感情に巻き込まれることなく自分本来の気持ちと相手から伝わった感情を区別する『共感』が大切であること、アサーションを知ることによって自分をきちんと伝え、相手も大切にすることがよりよいコミュニケーションを確立する上で大切であると学びました。社会生活や看護の現場で発揮できるコミュニケーション能力を磨いていきたいと思いました。



第1地区支部だより

出前講座

第1地区支部では、大規模病院から中小規模病院・そして地域の開業医で働く看護職の知識を向上させ、看護の質の向上を図ることを目標として掲げています。また、活動を通して会員数の獲得を目指しています。

活動計画の一つとして「出前講座」を行っています。内容は、各施設からの要望をアンケートで募り要望に応えられるように看護師を派遣します。第1地区支部の強みとして大規模病院が多く、その中でスペシャリスト（認定看護師・専門看護師）として看護師が勤務しているところです。人材活用の場の提供と地域の中小規模病院のニーズが合わさり、看護職としての果たす役割を遂行しやすい環境にあります。この「出前講座」は毎年好評を得ています。これまでは中規模病院からの要望がありましたが、今年度は、地域の施設からの要望があり出前講座を行うことができました。活動が徐々ではありますが認識されている実感があります。今後も第1地区支部の目標が達成できるように、各施設のニーズの把握に努め企画・運営を行っていきたいと思っています。

第6地区支部だより

出前講座

日 時：平成25年11月25日 13:00～

場 所：長浜西部福祉センター

講 師：社会福祉法人青祥会 特別養護老人ホーム アンタレス
認知症看護認定看護師 田中久美子

参加人数：31名

長浜西部福祉センターでは毎月テーマを変え、講演や季節の行事を行っています。

11月は「認知症予防」をテーマにさわやかルームにて、出前講座を行いました。講師に認知症看護認定看護師である田中久美子先生をお招きし、「看護師からの健康メッセージ」と題し、普段の生活についてや認知症、感染症の流行、予防など身近な事柄を分かりやすくお話いただきました。

また、左右の手を別々に動かすことで認知症予防にもなる「グーパー体操」や椅子に座ったままで行えるストレッチを教えて頂き、参加者全員で楽しく身体を動かすことができました。

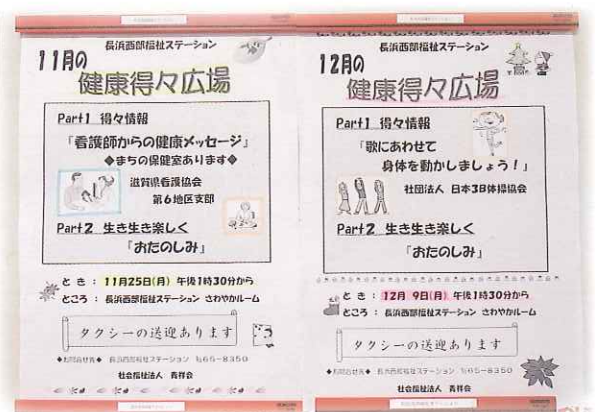
講演終了後には、集中力アップ、認知症予防になる簡単な指を使うゲーム(見本に合わせて左右で指を曲げる数を変えていく)や注意分割トレーニングとして、「人生いろいろ」「浪花節だよ人生は」といった懐かしい曲を2曲同時に流し、何という曲か考える曲当てクイズを参加者の皆さんと一緒にを行いました。皆さん、興味を持って頂け、集中してゲームを行うことができ、笑顔で終える事ができました。



▲田中久美子認定看護師による講演



▲第6地区支部役員による指を使ったゲーム



▲長浜西部福祉ステーション内掲示



看護協会長 Mine日誌

～未来の看護師さん熱いエネルギー～



2月に看護職の魅力の中・高校生の皆さんに発信するためのテレビ番組に出させていただきました。看護師のイメージとして圧倒的に多かったのは「ひとのためになる、やりがいのある仕事」でした。これから看護職を目指すみんなの目はとても輝いていて、私も看護師を志した時の初心を思い出しました。この彼ら彼女らの輝いた目、感動や夢をつなぎ深めていかねばならないと強い責務を感じました。

2025年までに今よりさらに50万人の看護職の確保が必要と言われていています。国では、社会保障と税の一体改革の推進に向けた「新たな看護職員確保に向けた総合的な対策」の必要性を取り上げ法改正に向かっていきます。

一つに離職防止・定着促進として「医療勤務環境改善支援センター」を設置し専門家チームにより総合的にサポートをするものです。

二つ目に、復職支援として「離職時の届出努力義務制度の創設」をし、離職後も継続的につながりを持ちきめ細やかな対応支援をするものです。

さらに新たな財政支援「基金」が創設されます。看護職の確保、働きやすい職場環境等の事業に当てられます。この基金は、県民の健康と幸せの実現に繋がるものです。理事会等で協議しています。是非、支部長さんを通じて、また直接皆さんのご意見を聞かせてください。

医療・介護を取り巻く環境が大きく変化するなかで、今まさに看護職が試される時がきていると言えます。療養生活を支える専門家として自信と誇りを持って、しっかり力を発揮していきましょう。

E-mail: kaicho@shiga-kango.jp



SHIGA! はたさぽ通信

相談員に 春がきた



日本の春は、さくらと共にやってきます。笑顔と温もりも一緒に届けてくれます。

出張就職相談窓口は、2年が経過しその間に、相談員が増え相談場所も変わりました。東近江地域ではハローワークに、湖東地域では彦根市立病院敷地内にある「くすのきセンター」にと。来所しやすい環境へと進められています。今まで140名の相談がありました。相談と共に、就業へと繋げる在宅医療福祉専門研修の説明を行い、家族背景を考慮しながら段階的に進めていきたい。当協会は、「ワークライフバランス推進事業」に取り組んで2年が経過します。参加施設は、働きやすい職場環境に取り組み努力されています。仕事と生活のバランスが調整できる方向性へと進んでいる取組みを説明していきたい。さあ、今年も相談者と向きあい頑張ります。

いよいよ3年目がスタートしました。今年も相談員として明るく笑顔をもっとに心がけていきます。「ナースセンターに行こう」とお気軽にご相談して下さい。



医療安全通信

医療安全推進委員会 vol.15

医療安全管理者養成研修

受講期間：平成25年7月1日～10月31日
受講者数：30名



医療安全管理者養成研修（eラーニング・集合研修）を終えて

守山市民病院 筒井 俊博

平成23年4月から、医療安全管理室配属となり、感染管理認定看護師として感染管理の活動を行う傍ら、養成研修の受講をすでに修了していた外来看護師長とタッグを組んで医療安全の取り組みを行ってきた。実際に、医療安全管理の活動をしていく中で、自分自身の知識や演習の経験不足が露呈され、十分な活動が行えないことに対する自分への腹立たしさを覚えた。そのため、医療安全管理に対する知識をもっと深めたいと思い、養成研修の受講を看護部長に願い出た。

eラーニングは演習を加えると合計41時間の医療安全管理の研修を受講することができ、分野も医療安全管理学の基礎知識から医療安全の歴史、メディエーション、チーム医療、KYT、RCA分析など多岐に渡る内容の講義を自分の都合のよい時間に合わせて学習ができ、本当に有り難く、実に楽しく学ぶことができた。

『事件は会議室で起きているんじゃない、現場で起きているんだ』をモットーに、フットワーク軽く現場スタッフの思いがわかる医療安全管理活動を目指していきたいと思う。

彦根中央病院 藤原 博子

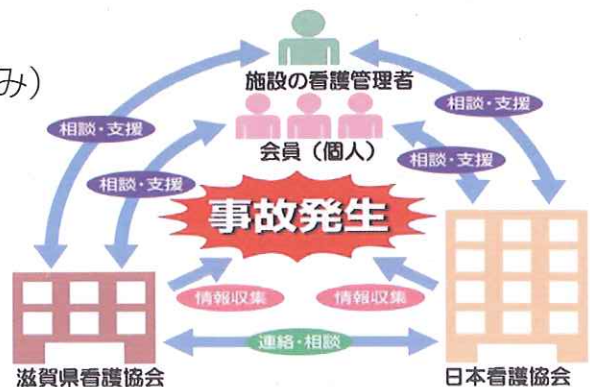
今回、病棟管理をしていく中で、医療安全管理についての研修の必要性を感じて受講した。eラーニングであったため、自分のペースで学習する事ができ、また、理解できなかった部分を何回も繰り返して学習する事ができたので、理解を深める事ができた。

講義の中で印象に残っているのは、医療安全の組織戦略のなかで、医療安全活動の2つの本質として、未然防止への努力、リスクをいかに減らすか、しかし、リスクはゼロにはできない。特に医療では不確実性の幅が大きく、したがって事故後の適切な対応、医療事故にどう対処できるかが大切である事を学んだ。また、集合研修で事例分析法(RCA分析法)の演習を行った。実際に事例の情報収集と分析をして対策を立案しフィードバック、評価をした。他施設の方と事例検討を通して医療安全の現状などいろいろな事をディスカッションすることで、取り組みを知ることができたので今後の活動に活かしていきたいと思う。

医療安全相談窓口

■相談体制 9:30~16:00 (平日のみ)

- 場 所：滋賀県看護研修センター内
TEL 077-564-6468
FAX 077-562-8998
- 担 当：看護協会長・常務理事・
医療安全推進委員(適宜)
- 方 法：電話相談・来訪相談・
FAX相談



滋賀県ナースセンターからのお知らせ



～看護のお仕事をお探しの方、 もう一度看護職として働きたい方へ～

ナースセンターでは、経験豊富な相談員が無料の職業紹介を行っています。求職者の条件に合う職場を探して紹介しています。そして、主に看護職の就職相談を受ける出張窓口として、ハローワーク（大津・草津・長浜・東近江）、健康福祉事務所〈保健所〉（高島・甲賀）、彦根市保健・医療複合施設くすのきセンター、滋賀マザーズジョブステーションに設けています。詳細は、ホームページをご覧ください。また、復職に不安のある看護職のために各種研修を実施していますので、是非、一度ご相談ください。

また、無料職業紹介サイト「eナースセンター」もご活用ください！

問い合わせ先

滋賀県ナースセンター TEL (077)-564-9494 FAX (077)-562-8998
 【看護職員無料職業紹介所 厚生労働大臣許可番号 25-ム-060002】 E-mail shiga@nurse-center.net

平成26年度 滋賀県看護学会 演題募集開始!!

応募締め切り：平成26年5月30日(必着)

★実践報告も募集しています★

※詳しくはホームページでご確認ください。

滋賀県看護協会

検索

「看護職の方へ」 → 「滋賀県看護学会」



事務局だより

平成26年度公益社団法人滋賀県看護協会通常総会の開催について

公益社団法人に移行して1年を経過しました。
通常総会の提出議題として25年度事業報告・決算報告等議案を予定しています。積極的なご参加をお願いいたします。

詳細につきましては、4月上旬に配付のご案内やホームページでご確認ください。

日時：平成26年6月7日(土) 10:00~15:00 (開場9:20~)

場所：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

理事会報告

第8回 平成26年2月15日

- 審議事項 滋賀県看護協会定款改正(案)について
 1. 総会における決議事項(理事の増に伴う)定款の変更案
 2. 補正予算(案)について
- 協議事項
 1. 平成26年度事業方針・重点事業(案)について
 2. 平成26年度事業計画(案)について
 3. 在宅ケアセンターみのり運営方針について



第9回 平成26年3月15日

- 審議事項
 1. 平成26年度事業方針・重点事業(案)について
 2. 平成26年度総会提出議案について
 3. 平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 4. 公益認定における訪問看護事業の扱いについて
- 協議事項
 1. 組織体制及び事務局主要人事について
 2. 協会長表彰について

以上

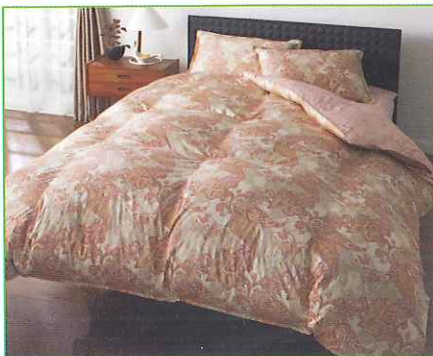
会員の声

他病院での取り組みを見ると、私たちも頑張ろうという気持ちになります。(K・M)

子育て世代の潜在ナースへの心強い後ろ盾があることを知り、現場の看護の充実に繋がられています。これからもサポートの充実に期待します。(K・H)



吹く風も柔らかな季節となりました。みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか？
新入職のみなさま、おめでとうございます。新しい環境で心機一転、皆様の活躍をお祈りいたします。
広報委員会では「一番星見つけた」の記事を募集しております。会員の皆様の声を大切に取り組みで
いきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。(K・M)



東洋羽毛は、滋賀県の看護師さんを 応援しています。

ご婚礼布団のご用命は、
東洋羽毛にご相談ください。



滋賀県看護協会推薦

TUK 東洋羽毛 0120-585-104

HP <http://www.toyoumo.co.jp>

東洋羽毛東海販売株式会社 三重営業所 〒514-0003 三重県津市桜橋3-67-13

公益社団法人 滋賀県看護協会 ホームページ：<http://www.shiga-kango.jp/>